

日本電球工業会規格 JEL 801

「L形ピン口金 GX16t-5 付直管形 LED ランプシステム (一般照明用)」¹⁾概要

社団法人日本電球工業会は、2006 年に「照明における省エネ提案」を刊行しました。この年以降、全世界において省エネ運動が盛んに提唱されるようになり、日本においても 2012 年に向けた脱白熱電球宣言がなされ、電球から電球形蛍光灯への置き換えを推進してきました。

また、その流れと併行し、2008 年から 2009 年にかけて、電球形 LED ランプをはじめ、LED 照明が多数のメーカーから商品化されてきました。その中には、直管蛍光灯の既設器具に使用できると称して販売されるものも出現し、その安全性を含め、正しい使用方法に関して、多くの機関、部署から当工業会への質問が相次いでおりました。

当工業会としては、このような既設の蛍光灯照明器具にそのまま交換できる直管形の LED ランプ類が市場で問題となっていたため、さまざまな方法で、注意喚起を行ってきました。また、経済産業省からは、業界を主導する立場として、早急に、安全が確認できるものから、先行的に標準化を進めていくべきであるなどのご指導を受けておりました。

このような状況の中、早急に、市場の課題を把握するとともに、それらの課題（互換性・落下・フリッカなど）を解決するためのシステムとして、適切な標準化（規格）を示すことが、当工業会としての非常に重要な責務であると考え、この **JEL** を発行することとなりました。

本 **JEL** では、L 形ピン口金 GX16t-5 付直管形 LED ランプ、制御装置及びソケットに関する要求事項並びに測定方法を規定し、また、本標準化に用いる口金・受金 (GX16t-5) の規定は、**JEL 907** (追補 4)²⁾にて規定しています。

注(1) **JEL 801** は、口金・受金名称変更(L16→GX16t-5)のため、2010 年 12 月 3 日改正され、規格名称が変更されました。

注(2) **JEL 907** 追補 3 は、口金・受金名称変更(L16→GX16t-5)のため、2010 年 12 月 3 日改正され、追補 4 が発行されました。

以下に、この **JEL 801** の目次を記します。

目 次

序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 用語及び定義	2
4. ランプの要求事項	4
5. ランプの安全性要求事項	5
6. ランプの性能要求事項	10
7. ランプの形式	11
8. ランプの表示	11
9. 制御装置の要求事項	14
10. ソケットの要求事項	15
附属書 A (規定) 口金表面の温度上昇試験	18
附属書 B (規定) ランプの電気的特性及び光学的特性の試験方法	19
附属書 C (規定) ランプの光束維持率及び寿命試験の点灯条件	20
附属書 D (参考) ランプの形式	21
附属書 E (規定) ソケットのリスト	22
11. データシート	23
11.1 ランプデータシート No.の一般法則	23
11.2 ランプ寸法測定位置の図示データシート	23
11.3 ランプデータシート	23